

# 公共政策大学院カリキュラム・マップ

## 【ディプロマ・ポリシー】

- ①公共政策の分野における高度専門職業人である「政策プロフェッショナル」に相応しい専門知識を修得し、公共政策に関わる職業を担うための深い学識及び卓越した実務能力を有している。
- ②時代とともに変化し多様化する「公」に対する社会的ニーズを踏まえつつ、高い職業倫理をもって「公」を目指して行動し、社会の発展に貢献することができる。
- ③公共政策の企画に必要な国際的視野、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有するとともに、自己の教養と専門性を深めるよう常に研鑽に努めることができる。

## 広い視野と専門知識の修得

### 基幹科目【M1・2】

国際社会と各国法秩序、  
グローバル・ガバナンス論

実務政策学A～H、  
地域社会と公共政策論 I・II

公共政策基礎理論、公共政策特論、  
行政の法と政策、租税制度論、  
政策税制論、公共哲学、地方自治法、  
防災法、経済学理論、財政学

公共政策基礎理論

### 展開科目【M1・2】

環境・コミュニケーション演習、国際関係論演習  
I・II、比較政治学演習 I・II、ヨーロッパ政治  
史演習 I・II、中国政治演習 I・II、アジア政治  
経済論演習 I・II、国際政治経済論演習 I・II、  
援助と開発演習

政策評価論、政策分析の手法、経済と社会、  
比較公共政策、経済産業政策特論、防災政策  
論演習、労働法演習、震災復興における  
政治・行政、日本政治演習、都市環境政策  
論演習、西洋政治思想史演習 I・II、日本  
政治外交史演習 I・II、行政学演習、法と  
経済学、環境法 I・II、実務労働法 I・II、  
社会保障法、経済法 I・II、ジェンダーと  
法演習、インターンシップA I・II・B

コミュニケーション能力、  
プレゼンテーション能力の修得

### 必須科目

【M2】  
公共政策ワークショップ II B

【M2】  
公共政策ワークショップ II A

【M1】  
公共政策ワークショップ I

国際的視野と  
コミュニケーション  
能力の修得

実務能力の修得

社会的ニーズの把握、  
職業倫理の修得

教養と専門性の追求

必須科目【M1】

政策調査と論文作成の基礎